

経済学研究科	経済学専攻	10名	20名
法学研究科	法学専攻	10名	20名
経営学研究科	経営学専攻	10名	20名
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	10名	20名
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	10名	20名
	地理空間システム学専攻	8名	16名
心理学研究科	臨床心理学専攻	10名	20名
	対人・社会心理学専攻	5名	10名

## 2 博士後期課程

研究科別	専攻別	入学定員	収容定員
文学研究科	仏教学専攻	3名	9名
	英米文学専攻	2名	6名
	社会学専攻	2名	6名
	史学専攻	4名	12名
	国文学専攻	3名	9名
	哲学専攻	3名	9名
経済学研究科	経済学専攻	6名	18名
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	3名	9名
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	4名	12名
	地理空間システム学専攻	3名	9名
心理学研究科	心理学専攻	4名	12名

## 第2章 人材育成・教育研究上の目的・授業科目・単位数・履修方法・課程修了要件

**第6条** 本大学院の教育は、授業科目の授業および学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。

**第6条の2** 本大学院各研究科各専攻別の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的ならびに修士課程・博士後期課程の開講科目単位数および履修方法は次の通りとする。

### 1 文学研究科

#### (1) 修士課程

文学研究科は、個および集団としての人間を中心に据えて、人間の創造する文化を省察し解明することを通して、真実・正義・平和を実現しようとする有為な人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的

その他の教育研究上の目的とする。

(イ) 研究科共通必修科目

修士課程の学生は、所属する専攻に関わらず、下表に示す共通必修科目を必ず修得すること。

授業科目	必修	選択	備考
研究の基礎	2		
研究指導 [修士] 1	1		
研究指導 [修士] 2	1		

(ロ) 授業科目

① 仏教学専攻

文学研究科仏教学専攻修士課程は、日蓮教学・日蓮教団史の研究教育を中心とする宗学または仏教思想・仏教史・仏教文化の研究教育を中心とする仏教学の各分野における基礎的な研究能力、もしくは当該分野に関連し専門性を要する職業等に必要能力を身に付けた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	選択必修	選択	備考
宗学コース			修了要件 共通必修科目4単位かつ両コースともに、選択必修科目から特講8単位以上と演習8単位以上を修得し、合計32単位以上修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
宗学特講 1	2		
宗学特講 2	2		
宗学特講 3	2		
宗学特講 4	2		
宗学演習 1	2		
宗学演習 2	2		
宗学演習 3	2		
宗学演習 4	2		
宗史特講 1	2		
宗史特講 2	2		
宗史特講 3	2		
宗史特講 4	2		
宗史演習 1	2		
宗史演習 2	2		

宗史演習 3	2	
宗史演習 4	2	
仏教学特講 1		2
仏教学特講 2		2
仏教学特講 3		2
仏教学特講 4		2
仏教学演習 1		2
仏教学演習 2		2
仏教学演習 3		2
仏教学演習 4		2
仏教史学特講 1		2
仏教史学特講 2		2
仏教史学特講 3		2
仏教史学特講 4		2
仏教史学演習 1		2
仏教史学演習 2		2
仏教史学演習 3		2
仏教史学演習 4		2
仏教文化特講 1		2
仏教文化特講 2		2
仏教文化特講 3		2
仏教文化特講 4		2
仏教文化演習 1		2
仏教文化演習 2		2
仏教文化演習 3		2
仏教文化演習 4		2
仏教学コース		

仏教学特講 1	2	
仏教学特講 2	2	
仏教学特講 3	2	
仏教学特講 4	2	
仏教学演習 1	2	
仏教学演習 2	2	
仏教学演習 3	2	
仏教学演習 4	2	
仏教史学特講 1	2	
仏教史学特講 2	2	
仏教史学特講 3	2	
仏教史学特講 4	2	
仏教史学演習 1	2	
仏教史学演習 2	2	
仏教史学演習 3	2	
仏教史学演習 4	2	
仏教文化特講 1	2	
仏教文化特講 2	2	
仏教文化特講 3	2	
仏教文化特講 4	2	
仏教文化演習 1	2	
仏教文化演習 2	2	
仏教文化演習 3	2	
仏教文化演習 4	2	
宗学特講 1		2
宗学特講 2		2
宗学特講 3		2

宗学特講 4		2
宗学演習 1		2
宗学演習 2		2
宗学演習 3		2
宗学演習 4		2
宗史特講 1		2
宗史特講 2		2
宗史特講 3		2
宗史特講 4		2
宗史演習 1		2
宗史演習 2		2
宗史演習 3		2
宗史演習 4		2
宗学・仏教学コース共通		
東洋哲学特講 1		2
東洋哲学特講 2		2
宗教学特講 1		2
宗教学特講 2		2
仏教考古学特講 1		2
仏教考古学特講 2		2

② 英米文学専攻

英文学、米文学、英語学、英語教育およびその関連諸分野において、専門的知識・能力、あるいは専門性を必要とする職業に必要な能力を身につけた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	選択必修	選択	備考
英米文学研究方法論 1	2		修了要件
英米文学研究方法論 2	2		共通必修科目 4 単位、選択必修 4 科目 8

英米文学研究方法論 3	2	
英米文学研究方法論 4	2	
英語学研究方法論 1	2	
英語学研究方法論 2	2	
英語学研究方法論 3	2	
英語学研究方法論 4	2	
英文学特殊研究 1		2
英文学特殊研究 2		2
英文学特殊研究 3		2
英文学特殊研究 4		2
米文学特殊研究 1		2
米文学特殊研究 2		2
米文学特殊研究 3		2
米文学特殊研究 4		2
英語学特殊研究 1		2
英語学特殊研究 2		2
英語学特殊研究 3		2
英語学特殊研究 4		2
英語教育学特殊研究 1		2
英語教育学特殊研究 2		2
英文学演習 1		2
英文学演習 2		2
英文学演習 3		2
英文学演習 4		2
米文学演習 1		2
米文学演習 2		2
米文学演習 3		2

単位と、特殊研究14科目の中から英文学、米文学、英語学、英語教育学の4分野のうち3分野からそれぞれ1分野2科目、合計6科目12単位、演習20科目の中から4科目8単位以上を修得し、合計32単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。

米文学演習 4		2
英語学演習 1		2
英語学演習 2		2
英語学演習 3		2
英語学演習 4		2
シェイクスピア演習 1		2
シェイクスピア演習 2		2
アカデミック・ライティング演習 1		2
アカデミック・ライティング演習 2		2
アカデミック・ライティング演習 3		2
アカデミック・ライティング演習 4		2
英語教育学演習 1		2
英語教育学演習 2		2

③ 社会学専攻

文学研究科社会学専攻修士課程は、社会学理論、犯罪、都市、環境、家族、労働、宗教、社会情報、社会心理、コミュニケーション、統計などの各分野における研究能力、もしくは当該分野に関連し高度な専門性を要する職業などに必要な能力を身に付けた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
理論社会学演習 1		2	修了要件 共通必修科目 4 単位、演習 4 単位以上を必修とし、合計 32 単位以上修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
理論社会学演習 2		2	
理論社会学講義 1		2	
理論社会学講義 2		2	
宗教社会学演習 1		2	
宗教社会学演習 2		2	
宗教社会学講義 1		2	

宗教社会学講義 2		2
環境社会学演習 1		2
環境社会学演習 2		2
環境社会学講義 1		2
環境社会学講義 2		2
家族社会学演習 1		2
家族社会学演習 2		2
家族社会学講義 1		2
家族社会学講義 2		2
都市社会学演習 1		2
都市社会学演習 2		2
都市社会学講義 1		2
都市社会学講義 2		2
犯罪社会学演習 1		2
犯罪社会学演習 2		2
犯罪社会学講義 1		2
犯罪社会学講義 2		2
情報社会学演習 1		2
情報社会学演習 2		2
情報社会学講義 1		2
情報社会学講義 2		2
現代ジャーナリズム論演習 1		2
現代ジャーナリズム論演習 2		2
現代ジャーナリズム論講義 1		2
現代ジャーナリズム論講義 2		2

自己の社会学演習 1		2
自己の社会学演習 2		2
自己の社会学講義 1		2
自己の社会学講義 2		2
現代社会論演習 1		2
現代社会論演習 2		2
現代社会論講義 1		2
現代社会論講義 2		2
社会調査方法論 1		2
社会調査方法論 2		2
社会調査フィールドワーク		2
社会学特講 1		2
社会学特講 2		2
社会学特講 3		2
社会学特講 4		2

④ 史学専攻

史学専攻・修士課程においては、日本史、東洋史、西洋史、考古学の4コースに分かれ、各コースで史資料にもとづく専門的研究に従事し、総合的な歴史認識の方法、豊かな学識と基礎的な研究能力を身につけた有為の人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	選択必修	選択	備考
日本古代史演習 1	2		1) 史学専攻は、日本史・東洋史・西洋史・考古学の4コースに分かれる。 2) 全コースとも共通必修科目4単位を修得すること。 3) 日本史コースは、日本古代史演習1～4、日本中世史演習1～4、日本近世史演習1～4および日本近現代史演習1～4の内から4科目8単位、ならびに古文書学特講1～4の内から2科目4単位を必修とする。
日本古代史演習 2	2		
日本古代史演習 3	2		
日本古代史演習 4	2		
日本中世史演習 1	2		
日本中世史演習 2	2		

日本中世史演習 3	2	
日本中世史演習 4	2	
日本近世史演習 1	2	
日本近世史演習 2	2	
日本近世史演習 3	2	
日本近世史演習 4	2	
日本近現代史演習 1	2	
日本近現代史演習 2	2	
日本近現代史演習 3	2	
日本近現代史演習 4	2	
東洋史演習 1	2	
東洋史演習 2	2	
東洋史演習 3	2	
東洋史演習 4	2	
東洋史演習 5	2	
東洋史演習 6	2	
東洋史演習 7	2	
東洋史演習 8	2	
西洋史演習 1	2	
西洋史演習 2	2	
西洋史演習 3	2	
西洋史演習 4	2	
西洋史演習 5	2	
西洋史演習 6	2	
西洋史演習 7	2	
西洋史演習 8	2	
考古学演習 1	2	

- 4) 東洋史コースは、東洋史演習 1～8 の内から、4科目 8単位を必修とする。
- 5) 西洋史コースは、西洋史演習 1～8 の内から、4科目 8単位を必修とする。
- 6) 考古学コースは、考古学演習 1～8 の内から、4科目 8単位、および考古学実習 1～4 の内から、2科目 4単位を必修とする。
- 7) 各コースとも、自コースの選択科目の中から特講 2科目 4単位を必修とする。

修了要件

合計32単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。

考古学演習 2	2	
考古学演習 3	2	
考古学演習 4	2	
考古学演習 5	2	
考古学演習 6	2	
考古学演習 7	2	
考古学演習 8	2	
古文書学特講 1	2	
古文書学特講 2	2	
古文書学特講 3	2	
古文書学特講 4	2	
考古学実習 1	2	
考古学実習 2	2	
考古学実習 3	2	
考古学実習 4	2	
日本史特講 1		2
日本史特講 2		2
日本史特講 3		2
日本史特講 4		2
日本史特講 5		2
日本史特講 6		2
日本史特講 7		2
日本史特講 8		2
古文書学実習 1		2
古文書学実習 2		2
古文書学実習 3		2
古文書学実習 4		2

東洋史特講 1		2
東洋史特講 2		2
東洋史特講 3		2
東洋史特講 4		2
東洋史特講 5		2
東洋史特講 6		2
東洋史特講 7		2
東洋史特講 8		2
西洋史特講 1		2
西洋史特講 2		2
西洋史特講 3		2
西洋史特講 4		2
西洋史特講 5		2
西洋史特講 6		2
西洋史特講 7		2
西洋史特講 8		2
西洋史料研究 1		2
西洋史料研究 2		2
考古学特講 1		2
考古学特講 2		2
考古学特講 3		2
考古学特講 4		2
考古学特講 5		2
考古学特講 6		2
考古学特講 7		2
考古学特講 8		2

⑤ 国文学専攻

日本語学、日本文学、琉球文学、漢文学およびその関連諸分野において、専門的

知識・知見を身につけ社会的に貢献しうる人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
日本文学特講 1		2	修了要件 共通必修科目 4 単位、特講 8 単位以上、演習 8 単位以上を必修とし、合計 32 単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
日本文学特講 2		2	
日本文学特講 3		2	
日本文学特講 4		2	
日本文学特講 5		2	
日本文学特講 6		2	
日本文学特講 7		2	
日本文学特講 8		2	
琉球文学特講 1		2	
琉球文学特講 2		2	
漢文学特講 1		2	
漢文学特講 2		2	
日本語学特講 1		2	
日本語学特講 2		2	
日本文学演習 1		2	
日本文学演習 2		2	
日本文学演習 3		2	
日本文学演習 4		2	
日本文学演習 5		2	
日本文学演習 6		2	
日本文学演習 7		2	
日本文学演習 8		2	
琉球文学演習 1		2	
琉球文学演習 2		2	

漢文学演習 1		2
漢文学演習 2		2
日本語学演習 1		2
日本語学演習 2		2
漢字書道実習 1		2
漢字書道実習 2		2
仮名書道実習 1		2
仮名書道実習 2		2
文学史特殊研究 1		2
文学史特殊研究 2		2
口承文学特殊研究 1		2
口承文学特殊研究 2		2
言語文化特殊研究 1		2
言語文化特殊研究 2		2
日本芸能史特講 1		2
日本芸能史特講 2		2
日本芸能史演習 1		2
日本芸能史演習 2		2

⑥ 哲学専攻

文学研究科哲学専攻修士課程は、哲学および関連する人文社会系の諸分野において、専門的知識ならびに批判的能力を身につけ、社会的に貢献しうる人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
古代哲学講義 1		2	修了要件 共通必修科目 4 単位、合計 32 単位以上を修得すること。かつ、修士論文を作成し、審査に合格すること。
古代哲学講義 2		2	
宗教哲学講義 1		2	
宗教哲学講義 2		2	
近代哲学講義 1		2	

近代哲学講義 2		2
近代哲学講義 3		2
近代哲学講義 4		2
近代哲学講義 5		2
近代哲学講義 6		2
現代哲学講義 1		2
現代哲学講義 2		2
現代哲学講義 3		2
現代哲学講義 4		2
現代哲学講義 5		2
現代哲学講義 6		2
現代哲学講義 7		2
現代哲学講義 8		2
古代哲学演習 1		2
古代哲学演習 2		2
宗教哲学演習 1		2
宗教哲学演習 2		2
近代哲学演習 1		2
近代哲学演習 2		2
近代哲学演習 3		2
近代哲学演習 4		2
近代哲学演習 5		2
近代哲学演習 6		2
現代哲学演習 1		2
現代哲学演習 2		2
現代哲学演習 3		2
現代哲学演習 4		2

現代哲学演習 5		2
現代哲学演習 6		2
現代哲学演習 7		2
現代哲学演習 8		2

(2) 博士後期課程

文学研究科は、個および集団としての人間を中心に据えて、人間の創造する文化を高度に研ぎ澄まされた広い視野と豊かな学識を通して省察し解明することを通して、真実・正義・和平を実現しようとする有為な人材を養成すること、ならびに、そのために必要な高度にして先端的な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

(イ) 研究指導

博士後期課程の学生は、その所属する専攻の次に示す研究分野における博士後期課程の指導教授について少なくとも週1回研究指導を受けるものとする。

専攻別	研究分野
仏教学専攻	日蓮教学 日蓮教団史 仏教学 仏教史学
英米文学専攻	英文学 米文学 英語学
社会学専攻	理論社会学 宗教社会学 地域社会学 情報社会学
史学専攻	日本史学 東洋史学 西洋史学 考古学
国文学専攻	日本文学 日本語学 日中比較文学
哲学専攻	西洋哲学 社会哲学

(ロ) 授業科目

① 仏教学専攻

文学研究科仏教学専攻博士後期課程は、日蓮教学・日蓮教団史の研究教育を中心とする宗学または仏教思想・仏教史・仏教文化の研究教育を中心とする仏教学の各分野における高度な研究能力、もしくは当該分野に関連し高度な専門性を要する職業等に必要な能力を身に付けた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
宗学関連科目			修了要件 3年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
宗学特講 1		2	
宗学特講 2		2	
宗学特講 3		2	
宗学特講 4		2	

宗学演習 1		2
宗学演習 2		2
宗学演習 3		2
宗学演習 4		2
宗史特講 1		2
宗史特講 2		2
宗史特講 3		2
宗史特講 4		2
宗史演習 1		2
宗史演習 2		2
宗史演習 3		2
宗史演習 4		2
仏教学関連科目		
仏教学特講 1		2
仏教学特講 2		2
仏教学特講 3		2
仏教学特講 4		2
仏教学演習 1		2
仏教学演習 2		2
仏教学演習 3		2
仏教学演習 4		2
仏教史学特講 1		2
仏教史学特講 2		2
仏教史学特講 3		2
仏教史学特講 4		2
仏教史学演習 1		2
仏教史学演習 2		2

仏教史学演習 3		2
仏教史学演習 4		2
仏教文化特講 1		2
仏教文化特講 2		2
仏教文化特講 3		2
仏教文化特講 4		2
仏教文化演習 1		2
仏教文化演習 2		2
仏教文化演習 3		2
仏教文化演習 4		2
関連領域科目		
東洋哲学特講 1		2
東洋哲学特講 2		2
宗教学特講 1		2
宗教学特講 2		2
仏教考古学特講 1		2
仏教考古学特講 2		2

② 英米文学専攻

英文学、米文学、英語学、英語教育およびその関連諸分野の研究を生かして社会的ニーズに応えることのできる、高度にして専門的な知識・能力を備えた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
英米文学研究方法論 1		2	修了要件 3年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
英米文学研究方法論 2		2	
英米文学研究方法論 3		2	
英米文学研究方法論 4		2	
英語学研究方法論 1		2	
英語学研究方法論 2		2	

英語学研究方法論 3		2
英語学研究方法論 4		2
英文学特殊研究 1		2
英文学特殊研究 2		2
英文学特殊研究 3		2
英文学特殊研究 4		2
米文学特殊研究 1		2
米文学特殊研究 2		2
米文学特殊研究 3		2
米文学特殊研究 4		2
英語学特殊研究 1		2
英語学特殊研究 2		2
英語学特殊研究 3		2
英語学特殊研究 4		2
英語教育学特殊研究 1		2
英語教育学特殊研究 2		2
英文学演習 1		2
英文学演習 2		2
英文学演習 3		2
英文学演習 4		2
米文学演習 1		2
米文学演習 2		2
米文学演習 3		2
米文学演習 4		2
英語学演習 1		2
英語学演習 2		2
英語学演習 3		2

英語学演習 4		2
シェイクスピア演習 1		2
シェイクスピア演習 2		2
アカデミック・ライティング演習 1		2
アカデミック・ライティング演習 2		2
アカデミック・ライティング演習 3		2
アカデミック・ライティング演習 4		2
英語教育学演習 1		2
英語教育学演習 2		2

### ③ 社会学専攻

文学研究科社会学専攻博士後期課程は、修士課程での学修や研究の成果を踏まえて、社会学理論、犯罪、都市、環境、家族、労働、宗教、社会情報、社会心理、コミュニケーション、統計などの各分野における高度な研究能力、もしくは当該分野に関連し高度な専門性を要する職業などに必要な能力を身に付けた人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
理論社会学演習 1		2	修了要件 3年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
理論社会学演習 2		2	
理論社会学講義 1		2	
理論社会学講義 2		2	
宗教社会学演習 1		2	
宗教社会学演習 2		2	
宗教社会学講義 1		2	
宗教社会学講義 2		2	
環境社会学演習 1		2	
環境社会学演習 2		2	
環境社会学講義 1		2	

環境社会学講義 2		2
家族社会学演習 1		2
家族社会学演習 2		2
家族社会学講義 1		2
家族社会学講義 2		2
都市社会学演習 1		2
都市社会学演習 2		2
都市社会学講義 1		2
都市社会学講義 2		2
犯罪社会学演習 1		2
犯罪社会学演習 2		2
犯罪社会学講義 1		2
犯罪社会学講義 2		2
情報社会学演習 1		2
情報社会学演習 2		2
情報社会学講義 1		2
情報社会学講義 2		2
現代ジャーナリズム論演習 1		2
現代ジャーナリズム論演習 2		2
現代ジャーナリズム論講義 1		2
現代ジャーナリズム論講義 2		2
自己の社会学演習 1		2
自己の社会学演習 2		2
自己の社会学講義 1		2
自己の社会学講義 2		2

現代社会論演習 1		2
現代社会論演習 2		2
現代社会論講義 1		2
現代社会論講義 2		2

④ 史学専攻

史学専攻・博士後期課程においては、日本史、東洋史、西洋史、考古学の4コースにそくして、史資料にもとづく専門的研究を深め、それぞれの分野で自立した研究者として論文を発表し、学界に貢献する人材を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
日本古代史演習 1		2	修了要件  3年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
日本古代史演習 2		2	
日本古代史演習 3		2	
日本古代史演習 4		2	
日本中世史演習 1		2	
日本中世史演習 2		2	
日本中世史演習 3		2	
日本中世史演習 4		2	
日本近世史演習 1		2	
日本近世史演習 2		2	
日本近世史演習 3		2	
日本近世史演習 4		2	
日本近現代史演習 1		2	
日本近現代史演習 2		2	
日本近現代史演習 3		2	
日本近現代史演習 4		2	
東洋史演習 1		2	
東洋史演習 2		2	

東洋史演習 3		2
東洋史演習 4		2
東洋史演習 5		2
東洋史演習 6		2
東洋史演習 7		2
東洋史演習 8		2
西洋史演習 1		2
西洋史演習 2		2
西洋史演習 3		2
西洋史演習 4		2
西洋史演習 5		2
西洋史演習 6		2
西洋史演習 7		2
西洋史演習 8		2
考古学演習 1		2
考古学演習 2		2
考古学演習 3		2
考古学演習 4		2
考古学演習 5		2
考古学演習 6		2
考古学演習 7		2
考古学演習 8		2
古文書学特講 1		2
古文書学特講 2		2
古文書学特講 3		2
古文書学特講 4		2
日本史特講 1		2

日本史特講 2		2
日本史特講 3		2
日本史特講 4		2
日本史特講 5		2
日本史特講 6		2
日本史特講 7		2
日本史特講 8		2
東洋史特講 1		2
東洋史特講 2		2
東洋史特講 3		2
東洋史特講 4		2
東洋史特講 5		2
東洋史特講 6		2
東洋史特講 7		2
東洋史特講 8		2
西洋史特講 1		2
西洋史特講 2		2
西洋史特講 3		2
西洋史特講 4		2
西洋史特講 5		2
西洋史特講 6		2
西洋史特講 7		2
西洋史特講 8		2
考古学特講 1		2
考古学特講 2		2
考古学特講 3		2
考古学特講 4		2

考古学特講 5		2
考古学特講 6		2
考古学特講 7		2
考古学特講 8		2

⑤ 国文学専攻

日本語学、日本文学、琉球文学、漢文学の各専攻分野において修士論文を提出した学生が博士論文を完成し社会において指導的位置に立つことのできる者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
日本文学特講 1		2	修了要件 3年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
日本文学特講 2		2	
日本文学特講 3		2	
日本文学特講 4		2	
日本文学特講 5		2	
日本文学特講 6		2	
日本文学特講 7		2	
日本文学特講 8		2	
琉球文学特講 1		2	
琉球文学特講 2		2	
漢文学特講 1		2	
漢文学特講 2		2	
日本語学特講 1		2	
日本語学特講 2		2	
日本文学演習 1		2	
日本文学演習 2		2	
日本文学演習 3		2	
日本文学演習 4		2	
日本文学演習 5		2	

日本文学演習 6		2
日本文学演習 7		2
日本文学演習 8		2
琉球文学演習 1		2
琉球文学演習 2		2
漢文学演習 1		2
漢文学演習 2		2
日本語学演習 1		2
日本語学演習 2		2
日本芸能史特講 1		2
日本芸能史特講 2		2
日本芸能史演習 1		2
日本芸能史演習 2		2

⑥ 哲学専攻

文学研究科哲学専攻博士課程は、哲学および関連する人文社会系学問の諸分野において研究を究め、その研鑽を通じて培った能力を活かし社会において指導的位置に立つことのできる者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
古代哲学講義 1		2	修了要件 3年間にわたって指導教授の研究指導を受け、12単位以上を修得すること。かつ、博士論文を作成し、審査に合格すること。
古代哲学講義 2		2	
宗教哲学講義 1		2	
宗教哲学講義 2		2	
近代哲学講義 1		2	
近代哲学講義 2		2	
近代哲学講義 3		2	
近代哲学講義 4		2	
現代哲学講義 1		2	
現代哲学講義 2		2	

現代哲学講義 3		2
現代哲学講義 4		2
現代哲学講義 5		2
現代哲学講義 6		2
現代哲学講義 7		2
現代哲学講義 8		2
古代哲学演習 1		2
古代哲学演習 2		2
宗教哲学演習 1		2
宗教哲学演習 2		2
近代哲学演習 1		2
近代哲学演習 2		2
近代哲学演習 3		2
近代哲学演習 4		2
現代哲学演習 1		2
現代哲学演習 2		2
現代哲学演習 3		2
現代哲学演習 4		2
現代哲学演習 5		2
現代哲学演習 6		2
現代哲学演習 7		2
現代哲学演習 8		2

## 2 経済学研究科

### (1) 修士課程

広い視野に立って精深な学識を授け、経済と環境および地域分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

#### ① 経済学専攻

授業科目	必修	選択	備考
------	----	----	----